

中学3年生のスピーチの指導について

—発信型の教育をめざして—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

寺田 恵一

中学3年生のスピーチの指導について

—発信型の教育をめざして—

筑波大学附属駒場中・高等学校 英語科

寺田 恵一

要約

2007年度の中学3年生の私の英語の授業は週に一度、アメリカ人のALTのMr. Mullerとのティームティーチングの形態で行われた。授業の重点を生徒のコミュニケーション能力の発展に置き、学期末に生徒全員にスピーチを行わせた。1学期には生徒が総合学習の一環として取り組んだ「東北地域研究」について、2学期には「日本の伝統的な文化」についてそれぞれ1,2分のスピーチを生徒全員に行わせた。本論では2度のスピーチについてその到達点と課題を明らかにして、今後のコミュニケーション活動の参考にしていきたいと考えている。

キーワード：コミュニケーション活動 スピーチ

1 はじめに

「発信型」の英語教育が強調されてから相当な年月が経つが、中学生や高校生にこのような教育はどのような活動スタイルが適しているのだろうかという疑問を、筆者は長い間抱いてきた。外国人に日本の社会や文化を紹介するスピーチを行わせることが、この疑問に対する一つの解答になるのではないかと考え、これに関連するテーマでこの数年間生徒にスピーチを行わせてきた。2003年度には中学2年生(56期生)に「自分が住んでいる地域」についてパワーポイントで全員に発表させた。2005年度の中学2年生と2006年度の中学3年生(両年とも58期生)に対して、それぞれ東京地域研究と東北地域研究についてスピーチを行わせた。2007年度は昨年に引き続き中学3年生(59期生)に、1学期に東北地域研究について、2学期に日本の伝統的な文化についてスピーチを行わせた。

本校では中学3年生は1学期に総合学習として東北地域研究に班で取り組み、その成果を学期末に班ごとにパワーポイントで発表し、さらにレポート集にまとめる。班で行動を一緒にするが、個人の印象はそれぞれ異なったものがあるはずである。従って、個性的な英語のスピーチができるのではないかと考えた。2007年度は、2006年度の「東北地地域研究」のスピーチの指導の経験を有効に活用できると判断した。

New Crown English Series (New Edition) 3(中学3

年生用の教科書：三省堂)のp.49には、「日本の文化について説明する文を書く」というテーマで「扇子」について短い紹介の文が載せられている。生徒にもう少し長い説明文を書かせ、それをもとにしてスピーチを行わせたらどうだろうかと考え、2学期のスピーチのテーマを「日本の伝統的な文化の紹介」にした。

2.1 1学期のスピーチ—「東北地域研究」

59期の中学3年生の生徒の東北地域研究は岩手県をメインにしたもので、各班のテーマは多岐にわたる。最初に次のようなスピーチについての要綱を生徒に配り、事前に原稿を提出するように指導した。

資料1

1学期のスピーチ(英語)について

1. テーマ

東北地域研究

2. スピーチの趣旨

東北地域研究で体験したことを写真などを使ってわかりやすく話す。できるだけ原稿を見ないで、聴衆の方を見て話す。スピーチを終了した後、Mr. Mullerの質問に答える。

3. 実物、写真、絵など

実物、写真、絵などを持参してプレゼンテーションを実施する。

4. スピーチの長さ

2分前後

5. スピーチ実施日

6月19日(火)と6月26日(火)

6. 原稿の提出

(A) 事前—6月5日(火) 原稿を直して本人に返すので、期限厳守。

(B) 事後—スピーチ終了後、清書した原稿を提出する。

7. その他

(A) スピーチに使用する語はできるだけやさしい語を用いる。

(B) 人のスピーチを聞いているときは、評価表にコメントなどを簡潔に記入する。

(C) スピーチをビデオに撮る。

次に、生徒の原稿を集め添削して返却した。生徒が原稿で使用している難しい専門的な語彙について一覧表を作成して、授業で意味の確認と発音練習を行った。次の表(資料2)が語彙の一覧である。

資料2

東北地域研究用語集

<用語集>

Area Study= 地域研究 research = 研究
sightseeing = 観光 inn = 旅館 the Super
express = 新幹線 JR Branch Office in Iwate = JR
岩手支社 railroad company = 鉄道会社
prefectural office = 県庁(prefecture = 県) 市役
所 = city hall 町役場= town office(hall) board of
education= 教育委員会 fishermen's
cooperative(association)= 漁業協同組合 farmers'
cooperative = 農業協同組合 hot spring; spa = 温
泉 cave = 洞窟 bat = こうもり world
heritage registration = 世界遺産登録 sea urchin =
ウニ cultivate = 養殖する poach = 密漁する

soft seaweed = わかめ ear shell, abalone = あわび
dairy farm = 酪農 disposal institution = 処理施設
stock breeding = 畜産 distribution = 流通
facility = 施設 hog raising = 養豚 damage =
損害 the Japan Postal Service Public Corporation
= 日本郵政公社 privatization = 民営化 box lunch
= 弁当 sulfur = 硫黄 ore = 鉱石 food hygiene =
食品衛生 noodle = うどん increase = 増える
decrease = 減る examination center = 検査所
temperature = 温度

スピーチを実施する前に、聴衆の生徒に評価表を配布して、「内容」、「聴衆」、「発音」の3点から互いのスピーチを評価させた。「聴衆」は、聴衆の方を見て話しているかどうかという点である。Mr. Muller は各スピーチについてこの3点についてそれぞれ4段階で評価しこれに基づき、総合成績を4段階で評価し、さらにコメントを書き込んだ。

生徒たちには、事前にできるだけスピーチの内容を覚えておくように言ったが、必ずしも暗記するようには伝えなかった。原稿を時々見ても良いが、リードアンドルックアップで、話すときは聴衆の方を見るように指導した。

生徒はスピーチを行った後に、ALTのMr. Muller から質問を1問受けそれに答えた。

次に生徒のスピーチの原稿を2編紹介する。

最初の生徒は、「郵政の民営化」という難しいテーマを扱っていたが、遠野市と宮古市の2つの郵便局の局員とのインタビューを通して郵政民営化の問題点を明らかにした。

スピーチの構成は簡潔で論理的であり、話し手は聴衆の方をしっかりと見てスピーチを行った。単語カードを用意してあり、privatizationのような難しい単語はカードの裏に日本語の訳をつけて、わかりやすく説明した。聴衆とのコミュニケーションをはかるという意味でも注目すべきスピーチだった。

文中で下線部が引いてある単語は、生徒が単語カードで説明したものである。

資料3

About the privatization of the postal service

Let me tell you about my study in Iwate Prefecture.

Our group studied about the privatization of the postal service called “Yusei-Mineika” in Japan.

We decided to study about this theme because the Japan Postal Service Public Corporation (Nippon Yusei Kosha) will be privatized completely and become the stock company in October of this year. Some people said the privatization of it will cause the disappearance of small post offices in Iwate.

So we decided to visit that kind of post office in Iwate.

First, we visited Tono Post Office. This post office is the biggest in Tono city but it has only 2 floors.

The post office chief said,

“The privatization in this time won’t only privatize the postal service, but also it will divide the postal service into 4 companies. So, post offices in all parts of the country will be divided into 4 companies. Therefore I think this privatization will make the postal service inefficient.”

We found this board which shows a countdown of days to the privatization at this post office. I felt that the staff is worried about this.

Next, we visited a small post office in Miyako. This post office is located in an empty street, and there are only 4 persons working.

“We will have to be in competition with other post offices with the privatization. We have been making efforts but it’s very hard.”, the post office chief said very sadly. He had a negative view to the privatization.

When the privatization is practiced, it will be clear whether the privatization is right or not.

.....

次の生徒は、宮古市の「魚菜市场」をスピーチのテーマにしている。自分の過去の経験と関連づけて充実した内容を展開している。

.....

資料 4

Fish Market in Miyako

Hello, everyone. Today, I’m going to tell you about my experience of *Touhoku-Area Study*. I’m going to talk about *Fish Market in Miyako*. As you may know, Miyako is famous for its fisheries. In this market, very fresh fish are bought and sold. They are very cheap. Before the trip, Mr. Suzuki strongly recommended us to visit this market, so we decided to visit it.

By the way, I would often go to Kyoto, where my grandfather lives. There’s a very famous market there. It is called *Nishiki Ichiba*. This is a picture of *Nishiki Ichiba*. Does anyone know *Nishiki Ichiba*? As I grew up, I went to *Nishiki* with my mother or grandmother many times. So, I’d got used to this large market. Since then, I had never been surprised to see a market: because I had known one of the largest markets in Japan before knowing a normal market.

But *Miyako* was the only exception that I’ve ever seen or visited. There were many kinds of fish and shellfish. Now, I’ll show you some examples.

What are these? They are bream. In Japanese, it’s called “kinmedai”. How about these ones? They are trout. In Japanese, it is “masu.” How about these? Can you guess? Actually, they are sea-pineapple. It looks like a pineapple. It is “hoya.” Most of them were alive, and some of them were jumping out of the water. It was the first time that I have been surprised to see a market. I think this market is far better than *Nishiki* as far as fish is concerned. And I think there will be few times to feel like that in my life. That’s all for my speech. Thank you.

.....

2.2 1学期のスピーチの到達点と課題

「東北地域研究」の生徒の原稿は、個人差はあるが概して具体的で内容が豊かな印象を受けた。これは、自分が体験したことを述べたためだと推察できる。

パラグラフライティングの観点から評価すると、生徒のスピーチに少し個人差が見られた。東北地域研究は3泊4日で行われるために、生徒のスピーチの構成は全体として時系列的に書いたものが多く、その意味では理解しやすかったといえる。”On the first day.

The next day...”等の表現が多く見られた。2.1で

紹介した「郵政民営化」のスピーチでは、“First” , “Next”などの言葉が使用されて全体が論理的に構成されている。「魚菜市场」を扱ったスピーチでは、第2段落の冒頭の“By the way”というフレーズが、主題の「宮古の市場」と対比されて説明される“Nishiki Ichiba”を導入する効果的な表現になっている。一方で、“First”の代わりに“At first”を誤って用いている生徒もいた。

全体的な傾向として、生徒がスピーチに使用する語彙が少し難しすぎたことが挙げられる。事前にできるだけやさしい語を使って原稿を書くように伝えたが、和英辞典で見つけた英語をそのまま原稿に書いた例が多かったように思われる。

リードアンドルックアップについては個人差が大きかった。原稿から目を離してしっかり聴衆に話しかけた生徒もいれば、原稿に頼りすぎて読み上げる傾向の生徒もいた。この点は、使用するする語彙の問題とも関係があり、自分自身が使いこなせる言葉で原稿を書き、聴衆に自信をもって話すように今後指導すべきだと感じた。

3. 1 2 学期のスピーチ—「日本の伝統的文化の紹介」

2 学期の授業は9月から英文のテキスト、'American Customs and Traditions'(T, Tomscha, 1991: Longman)などを用いながら、アメリカの年中行事について説明することから始まった。ALT の Mr. Muller がアメリカ人なので、特に独立記念日(Independence Day)やハロウィーン(Halloween)については個人的な体験も含めて解説して頂いた。アメリカの年中行事を紹介したのは、生徒のクロスカルチュラルな理解を促進したいと考えたからである。

10月の初めに「日本の伝統的文化の紹介」についてのスピーチの要綱を生徒に配布した。要綱の中で、テーマについては「日本の伝統的な文化であれば何でも良いが、年中行事は省く(授業で一部扱うため)、ただし、祭は可。自分の体験などを含めて書くことが望ましい」と定めた。1 学期のスピーチと同様に、実物、写真、絵などを用いてスピーチを行うように指示した。要綱とともに「スピーチの仕方」(資料 5)というプリントを生徒に配付し、スピーチの構成と発声法などについて注意した。また、日本の年中行事について、子供の日と節分についてそれぞれ筆者が授業で簡単な紹介を英語で行った。

資料 5

スピーチの仕方

A. スピーチの構成

1. スピーチの始め方—挨拶の後に、テーマ(トピック)を紹介する。

Hello, everyone. Today I'm going to talk about ... (Today I'm going to tell you about ...) Let me talk about ...

2. テーマの定義を簡潔に行う。

(例) Shoji is a Japanese traditional sliding door ...

Kendo is one of the Japanese traditional martial arts.

3. キーワード(Key Words)を強調する。

(例) Do you know this? (Show a picture.) Yes, this is **miso soup**, or **Misoshiru** in Japanese.

4. スピーチの構成を判りやすくする。

(例) First, Second (Next), ... Third,

5. まとめとスピーチの終わり方

In conclusion ... / To conclude, Thank you (for listening).

B. 全体的な注意

1. Speak slowly, clearly, and loudly.
2. Look at your audience while you make a speech.
3. Answer questions asked by Mr. Muller after you make a speech.
4. Fill in the evaluation cards while listening to other students' speeches. (Write a few comments about the speeches.)

生徒のスピーチは 11 月の中旬から末にかけて、3、4 回の授業に分けて実施した。11 月 13 日に本校で行われた第 34 回教育研究会の英語科の中学の公開授業では、3 年 B 組の生徒数名が「日本の伝統的文化」ついてスピーチを行った。授業は筆者と ALT の Mr. Muller がティームティーチングで行った。

公開授業では、こちらの予想を超える素晴らしいス

スピーチが続いたが、そのうち2編を次に紹介する。最初のスピーチのテーマは「蚊取り線香」である。この生徒の家庭はまだ「蚊取り線香」を使っているとスピーチで述べていた。

資料6

Mosquito Coil

I'm going to talk about "Katori Senkou", called "A Mosquito Coil" in English. Here in Japan, a lot of mosquitoes are active in summer. But the mosquito coil kills some mosquitoes. It was invented in Japan in 1888.

The shape of the mosquito coil is dust or stick or coil. The most common shape is coil. It is called "Mosquito Coil". If the shape of Coil is stick, the total length is 75 centimeters. But because of the model change from the stick to the coil, it has become small and easy to use. So the model is coil is popular now.

It is very easy to use a mosquito coil. We only fire the incense and put it on the floor. Then it gives some pleasant smell with some smoke.

A mosquito coil has two features. One is the shape. The other is the mosquito coil's stand. Mosquito coil is always with the stand when you use it. The stand also has feature shape. The most famous shape is "pig." We put the mosquito coil in it, and use it.

These days, we don't see mosquito coils often. But it is one the traditional cultures in Japan. I don't want to lose this culture. By the way I have the Pig stand and used it last summer too. Wouldn't you use it?

この生徒についての Mr. Muller のコメントは、"Excellent speed. Clear loud voice. Good pronunciation. (素晴らしいスピード。はっきりとした大きな声。良い発音)とあり、非常に高い評価を下している。

次の生徒は「すし」について話した。すしの種類や歴史について簡潔に述べている。Mr. Muller のコメントには"Excellent pronunciation. Good eye contact.

Good visuals. Well prepared. (素晴らしい発音。良いアイコンタクト。良いビジュアル。良く準備されている)とあり、このスピーチも高い評価を得た。

資料7

Sushi

Hello, everyone. Today I am going to talk about "Sushi."

"Sushi" is a famous Japanese cooking, and most Japanese people like it. It is a food made of vinegary rice, and topped with raw fish, eggs, or vegetables.

There are many kinds of "Sushi." For example, "Nigirizushi", "Makizushi", "Inarizushi", and "Chirashi-zushi". "Nigirizushi" is the most common of them. It is made with toppings of fish and shellfish laid with hand-formed clumps of rice. "Makizushi" is a "Sushi" rolled inside "Nori". "Inarizushi" is a "Sushi" which stuff toppings into a small pouch of fried "Tofu" we say "Age-Dofu" in Japanese. "Chirashi-zushi" is with toppings which are scattered over a bowl of "Sushi" rice.

When did they begin to eat "Sushi"? The beginning of eating "Sushi" was the Heian era. They preserved and fermented fish with salt and rice, but hey ate them without rice. It is like the present "Funazushi". They did only preservation and fermentation, so this kind of food continued until the Edo era. But "Nigirizushi" was developed by Hanaya Yohei at the end of the Edo era. It was a new kind of "Sushi" in those days, so it became popular since then for 150 years.

In the Meiji era, "Sushi" was introduced into America. At first people of foreign countries did not like raw fish, but later they began to think that it is a low fat food and good for their health.

Nowadays, "Sushi" has become popular all over the world.

Thank you for listening.

3.2 2学期のスピーチの到達点と課題

2学期のスピーチは全体的に1学期のスピーチに比べて、スピーチの内容とリードアンドルックアップの両面で向上が見られた。

内容面ではパラグラフィティングをしっかりと書ける生徒が増えてきた。First, Secondなどの言葉を使って、内容を整理して論理的に話すことができるようになった。「花見」について話した生徒は、次のような表現を用いて巧みに導入を行った。(下線部が導入部と考えられる。下線は筆者が引いた。)

“Hello, class. First, please listen to this song. It is “Sakura Sakura”. In English, sakura is called cherry blossoms. Today, I’m going to tell you about hanami...”

しかし、一方で1学期に見られた難しい語を使う傾向も続いていて、やさしい言葉にバラフレーズさせる指導が今後必要だと思った。

発音やイントネーションについては、Mr. Mullerの日常の指導もあり着実に進歩している面がある。特に、個々の単語の発音は全体としてかなり向上しているように思われた。一方、センスグループごとに切って読み、聞き手にとって理解しやすいスピーチを行うという面では課題が残った。

リードアンドルックアップができるようになった生徒が増えたのは事実である。しかし、まだテキストを読み上げる生徒も何名か存在した。今後は、日常の教科書を使った授業においても系統的にリードアンドルックアップの指導をしていく必要を感じた。

4. 参考文献

- Anzai, T and Tachibana, Y. (edit) (1987). Pictorial encyclopedia of Japanese culture. Gakken.
ダイモン・スクリーチ、マーガレット・プライス他 (2003) 『トレンド英語日本図解辞典』 小学館
藤澤優、山田弘(2007) 『中学英語で日本の伝統文化が紹介できる』 エール出版社
藤原正彦、ジャイルズ・マリー(訳) (2007). 『国家の品格』(The Dignity of the Nation) 洋販
古澤陽子他(2006) 『週刊人間国宝9月号』 朝日新聞社
Harrington, D. and LeBean, C. (2006). Speaking of speech—Basic Presentation skills for beginners.

Macmillan Languagehouse.

- 水野潤一(1987) 『あなたも名ガイド—英語で説明する日本の“不思議”なぜなぜ集』 大修館書店
Reid, J.M. and Lindstorm, M. (1985). The process of paragraph writing. Prentice-Hall.
Segal, M.K., Pavlik, C. (1996). A writing process book. Mcgraw-Hill.
杉浦洋一、Gillespie, J.K. (2006) 『日本文化を英語で紹介する事典』 ナツメ社
Tomscha, T. (1994). American customs and traditions — Interactions one (Third edition). Longman.
筑波大学附属駒場中学校・高等学校編(2000) 『「テーマ学習」を創る—生きた学びの演出』 学事出版
津田幸男(2000) 『パターン活用—やさしい英語スピーチ』 創元社
山本素子、伝統文化研究会(2000) 『日本の伝統文化』 はまの出版
White, R., Arndt V. (1991). Process writing. Longman.